

学校行事参加型+体験活動参加型(小学校)

学 校 名 等	飛騨市立古川西小学校 6 年生
実 施 日 時	夏休み
会 場	各家庭
参 加 人 数	48名(48世帯)
学習課題(分野)	自立心
運営者の願い	テーマ:「古川魅力再発見」(6 年生) 学習内容の一部について、保護者の皆さんがわが子の学習に参加・参画することで、親子の交流を深めるとともに親子の学びを膨らませてほしい。

学 習 の 内 容

<親子学習の流れ>

- 学習主題:古川魅力再発見。
- 学習内容:親子で地域のよさを探検する。
- 学習方法:選んだテーマに合わせて親子で一緒に調べる。
- 使用資料:タブレット



<取組の例>

杉崎廃寺跡について (A さん)

【誰に相談】

お父さん

【どこに行ったか・何をしたか】

杉崎廃寺跡

- ・インターネットの資料だけではよくわからなかったため、実際に見に行くことにした。
- ・メジャーを使って杉崎寺跡と石の幅を測った。

(父) 思ったより、大きいな～

②柱が立っていた一つ一つの石の広さ

門の柱が立っていたところ たて約43cm 横約54cm

金堂の柱が立っていたところたて約1m 横約1m15cm

講堂の柱が立っていたところ たて約60cm 横約65cm

鐘楼の柱が立っていたところ たて約55cm 横約50cm

塔の柱が立っていたところ たて約35cm 横約35cm

分かったこと

- ・柱ごとに使っている石の大きさが違う
- ・柱の太さや建物の大きさに関係があるのか？

(父) 柱の大きさに違いがあるなんて初めて知ったよ！

まとめ

- ・杉崎廃寺跡は、しきち広くていろんな種類の建物がある。
- ・建物ごとに、柱がたっている石が違う。これは、柱の大きさや建物の大きさにも関係あるのではないかな。
- ・お父さんといっしょに実際の長さを測ったり、柱の跡地を探したりすることができてよかった。

飛騨の魅力再発見 (B さん)
「古川といえば」のお店にインタビューしました

【調べ方】

- ①お母さんに知っていることを聞く。
- ②現地に行ってインタビューをする。

【お母さんのアドバイス・お手伝い】

- ①行く前にアポの電話をする。
- ②電話で話す内容の確認。
- ③現地までの送迎。

(母) お店の方は忙しいので、都合のよい日を聞いてから出かけるといいね。

- どうして東京から飛騨に引っ越してきたんですか？
たくさん自然があるところ、美味しい水があるところ、人がやさしいところだそうです。

- の自慢はなんですか？
スタッフもお客さんも素敵な人がいっぱいいるところだそうです。

(母) 行って来てよかったね。
古川にはいいところがいっぱいあるね！ いい人もいっぱい！

おがずや、駄菓子屋、いばばい、井之廣は、お店の人のおおばあちゃん、おじいちゃんから続いているそうです。代々引き継いでいるからこそ長い歴史が一つ一つのお店にあるんだと感じました。

魅力では、ほとんどのお店の方がみんながそほく存在と答えていました。他にも、狭い街だからこそ人と人の距離が近い、心温まる人が多く、生活しやすいところだそうです。

お店のオーナーさんは東京から飛騨に引っ越してきて、をやっていて、どうして飛騨に引っ越してみえたんですか？と聞くと沢山の自然、美味しい水、人が優しいところだと言っていました。
私も飛騨は人が優しくして生活しやすいところだと思います。飛騨にはたくさんの素敵なお店がありました。みなさんもぜひ行ってみてください。



学校の教科等を活用し親子で学習する時間の位置づけ

◎教科等の学習を通し、親子が一緒に活動する機会を大切にしています。

(例)

- 1年生 手伝い大作戦
- 2年生 さつまいも料理
- 3年生 リンゴの皮むき
- 4 年生 ごみ減量大作戦
- 5年生 お米料理
- 6年生 古川魅力再発見



学校教育×家庭教育の視点を活かす

◎学校のよさである「保護者が集まる機会が多いこと」「子どもを通じて、保護者のつながりがあること」を活かし取り組まれています。

◎子どもたちの学習に保護者が参加(参画)する時間が、子どもたちの学びを深めたり、保護者がわが子の成長を感じたりする効果を生み出しています。



「わが家の約束」運動

◎親子が一緒に学ぶ機会を通して、親子(家庭)における豊かなコミュニケーションが広がっています。また、保護者の子育てネットワークを確かにしています。